

中高年の慢性胃炎が危険！ ピロリ菌が原因ならば、薬で除菌すれば「胃・十二指腸潰瘍」「胃がん」のリスクが減ります

慢性的な胃の痛み…「ストレスで」と放っておくと胃がんに?!

医療法人社団 御幸会

熊本循環器科病院

熊本循環器科病院

検索

胃がんは早期なら、手術をしなくても治せます

胃の粘膜にある早期のがんなら、内視鏡でその部分を切除するだけで完治させることができます。そのほとんどが内視鏡検査で、偶然発見されるケースです。

同院では苦痛の少ない検査機器も積極的に導入。とくに約6mmと細い「経鼻（けいび）内視鏡」は、胃の内視鏡検査を口からではなく鼻から行うことで、嘔吐感（オエッ）が少なく楽です。

けいび 経鼻内視鏡検査 (新規導入)

検査中の苦痛が少ないので、強い麻酔も必要ありません。検査後もすぐに、車の運転や仕事などを行うことができます。

- 仕事をしている人
- 苦痛に弱い人
- 嘔下反応が強い人…等に言われています



日本ではこれまで、潰瘍などがなければ、ピロリ菌の除菌は健康保険外（自費）でした。そんな中、今年4月から適用が拡大され、慢性胃炎でも除菌（2回目まで）が健康保険対象になったことは大きなニュースです。

「除菌の方法は、3種類の薬を1日2回、1週間内服するだけです。成功率は80%前後。1カ月以降にもう一度検査をして、除菌が成功しなかった場合には、薬の種類を変更して2回目の除菌を行います。」

除菌後もピロリ菌に再感染したり、胃がんリスクが高くなるのではと、一度相談してみませんか。

今年4月から、ピロリ菌感染胃炎の除菌治療が保険適用に



消化器外科・内科・副院長 たびら 田平 洋一 医師

熊本大学医学部卒業、済生会熊本病院外科勤務。熊本大学医学部外科第一講座講師、熊本託麻病院消化器外科部長などを経て、H24年7月から熊本循環器科病院消化器内科勤務。日本外科学会（認定医）、日本消化器外科学会（専門医）、日本食道学会（認定医、暫定専門医）など

「アジア人はヘリコバ」

「アジア人はヘリコバ」

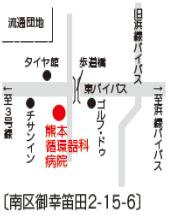
「アジア人はヘリコバ」

ピロリ菌感染は、中高年で7割以上

胃がんは、男性ではがんの中で1番多く、女性でも3番目に多く診断されています。日本は先進国の中でも、胃がんになる率が非常に高い国。なんと胃がんの最大原因は、ピロリ菌ということをご存知ですか？

ピロリ菌が、胃がんの最大要因

ピロリ菌の感染率は約50%。年齢が高い人になると70～80%といわれます。ピロリ菌に感染したら、必ず病気になるというわけではありませんが、ピロリ菌は胃の内壁を傷つける性質があります。ピロリ菌感染歴のある人は感染していない人の150倍、胃がんのリスクが高いというデータも



☎096 (378) 0345

- 診療時間 / 9:00～12:00, 13:00～17:00
 - 休診 / 水曜午後(小児科)、土曜午後、日曜、祝日
 - 駐車場 / あり
- ※かぜや腰痛、糖尿病などの病気から、検査～治療もトータルで受付

- 【診療科目】
- 内科 ● 循環器内科 ● 糖尿病内科 ● 脂質代謝内科 ● 消化器内科 ● 小児科 ● リハビリテーション科



生を大幅に防げるという研究結果があります。ですから胃がんの予防としては、まずピロリ菌に感染しているかを調べ、感染があれば除菌すること。同時に、喫煙や食生活などの改善も重要です。日ごろから、胃やみぞおちなどの痛みがある人は、ぜひピロリ菌の検査を受けてみましょう。

感染すると、150倍の胃がんリスク

- 日本人のピロリ菌感染率は約50%。年齢が高い人になると70～80%といわれます
- ピロリ菌に感染したら、必ず病気になるというわけではありませんが、ピロリ菌は胃の内壁を傷つける性質があります
- ピロリ菌感染歴のある人は感染していない人の150倍、胃がんのリスクが高いというデータも